

サークル紹介

アコーディオンサークル「Ne！風琴」

宮城県名取市の公民館を拠点に活動しているアコーディオンサークル「Ne！風琴」（ね！ふうきん）です。代表をしている佐々木と申します。

このたびは、メンバーの鈴木が以前参加した伴奏講座のつながりで、紹介させていただくことになり、光栄です。

私達のサークルとしての活動は、2009年以前にさかのぼります。

名取市の高台に仙台市内から移転してきた尚絅学院大学が、市内で市民向け社会教育講座を始めました。そのなかのひとつに、アコーディオン講座がありました。講師は、歌声の世界では有名な「青春」の作曲者「じぬしみきお」さん。

参加者は当初10名前後でしたが、人数も増えて2クラスになり、合唱など他の講座の受講生も交えて、市の文化センターでの発表会もありました。

そのとき、アコーディオンのメンバーが示し合わせて、終了後、前触れなしにロビーで「ゲリラコンサート」を行ったことがありました。会場から出てきたお客さん達が手拍子をしてくれて、ライブの喜びを感じた瞬間でした。

そんなこんなことがあって、講座の仲間の連絡用にネット掲示板を作ったのが2010年の6月。さらに、サークルをつくって活動しようということになり、アコ

ーディオンサークル「Ne！風琴」が2011年2月に生まれたのです。

その1カ月後に、東日本大震災が名取市を襲い、学習センターも避難所のような状態になりました。活動が自粛される中で、じぬし先生に連れられ、アコーディオンを担いで避難所へ慰問にいくという経験もしました。

震災前より、出場経験のあるメンバーから「とっておきの音楽祭」に出てみようという話があり、復興途上のあわただしさのなか、震災直後のその年、「とっておきの音楽祭」に初めて参加しました。また、とっておきの音楽祭の趣旨から、メンバーの息子さんとダウン症の青年も、パーカッションとして音楽祭に参加しました。仙台の繁華街の中のストリートで演奏するという、経験したことのない素晴らしい体験は、アコーディオンの素晴らしさを実感できるものでした。そして、ライブ演奏の楽しさを感じるひとときでもありました。アコーディオン一つあれば、どこでも演奏できるということも感じました。

その後、アコーディオン講座はなくなりましたが、学習センターを拠点としてサークル活動は続き、学習センターの行事にも参加させてもらいました。

そしてその後、活動の拠点としていた学習センターが閉館・移転してしまいま

したが、活動の場を公民館に移し、活動を続けています。地域の行事にも参加させてもらい、とっておきの音楽祭も毎年参加してきました。

10 年間、毎年参加してきた「とっておきの音楽祭」(仙台) は、コロナ禍のため 2020 年、2021 年は、Web 開催となり、動画での参加となりましたが、やはり、ストリートでの生演奏にはかないません。演奏する側と、見て、聴いてくれる側、双方で作り上げていく音楽のよろこび、音楽の力を感じています。

また、ネット掲示板をみて、参加したメンバーもありました。

現在、メンバーはリタイア組が多くなりました。しかし、子育てや仕事で忙しくなかなか参加できない若いメンバーもあり、できる範囲でともに活動しています。

サークル活動における悩みの 1 つに、目標を見失いがちということがあるかと思いますが、メンバーそれぞれ、目標や課題を見つけて練習し、演奏する場を作っていこうと考えました。「うちわのコンサート」と題し、1 年に 2 回、発表の場を設けています。すでにうちわのコンサートは 8 回を数えました。

このところ、公民館も使用停止になったり、活動は滞りがちですが、ずっと続けていきたいとおもっています。

最後に、サークルの特徴を・・・一人にサークルの役割・事務・雑務が集中することなく、それぞれに役割を分担してやっています。そして時間は意外と「ゆるい」です。その二つが、長続きの秘訣かも・・・

(寄稿：2021 年 11 月)



2021 年 10 月 23 日公民館祭り (練習会場に使っている公民館だそうです)
通常は屋外で開催されるのだけれど、今年 (2021 年) は公民館の中だけの開催だったとあります。(キャプション：編集部)



2021 年 10 月 23 日（公民館にて）



2018 年 尚絅発表会の様子